

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会は、日本のロータリーの創始者、米山梅吉氏の生前の功績をたたえ、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために“平和日本”を世界に伝え、国際親善と世界平和に寄与したいという戦後ロータリアンの強い願いにより、1952 年東京ロータリークラブが設立した「米山基金」に始まります。その後日本の全ロータリークラブの共同事業に発展し、民間最大級の国際事業になりました。米山記念奨学会では日本で学ぶ外国人留学生を支援しております。皆さんから頂いた寄付金はすべて奨学事業に使われています。管理費はほぼ利子収入で賄われてきました。奨学金には、ロータリー米山記念奨学金や地区奨励ロータリー米山記念奨学金、海外応募者対象ロータリー米山記念奨学金などがあり、月 7 万円から 14 万円が支給されます。返済は不要です。米山記念奨学会への寄付は寄付金控除対象です。今年度の地区の寄付金収入で 2 年後の地区奨学生割当数が決まります。皆さんのご協力をお願い申し上げます。このようなことをふまえ本年度米山記念奨学委員長会では、当地区のロータリーメンバーに米山記念奨学事業を深くご理解いただく事を第一に、米山奨学生と世話クラブ並びにカウンセラーとの橋渡し（奨学生をお客様扱いしない）に努めてまいります。

第 2530 地区米山記念奨学会委員会今年度の目標

- 1、奨学生受け入れ未経験クラブへの受け入れ支援
- 2、学友委員会との連携協力
- 3、寄付目標 普通寄付金 5000 円/人 特別寄付金 10000 円/人の推進、 寄付ゼロクラブゼロの達成。

米山記念奨学会委員会は、3 小委員会に分かれています。事業の計画、準備等は各担当委員会が小委員長を中心に行い、事業は米山委員会全体で行います。

- ① **推進委員会** 米山記念奨学会への理解促進とそれに伴い寄付金の増額を目指します。米山奨学生の卓話研修会（7 月）、米山月間（10 月）を担当し、クラブ訪問窓口（随時）、クラブ米山委員長への米山活動紹介、奨学生受け入れ未経験クラブへの受け入れ支援を行います。
- ② **学友委員会** カウンセラーと協力して米山奨学生の育成を図ります。カウンセラー研修会（8 月）、米山梅吉記念館研修旅行（9 月）、米山奨学生体験発表会（11 月）、終了式（2 月）、新米山奨学生歓迎オリエンテーション、カウンセラーとの顔合わせ（4 月）を担当します。
- ③ **選考委員会** 学業、異文化理解、コミュニケーション能力を念頭に置いた優秀で夢を持った人柄の良い奨学生を採用します。指定校、地区奨励校の選定、指定校、地区奨励校担当者への説明会の実施。面接官オリエンテーション（11 月）、書類選考（11 月下旬）、選考試験（12 月）、奨学生受け入れクラブ、カウンセラー選定（2 月）を担当します。